

地誌 第12回「西アジア地誌①～自然環境と社会文化～」

○今回のポイント

西アジアの自然環境

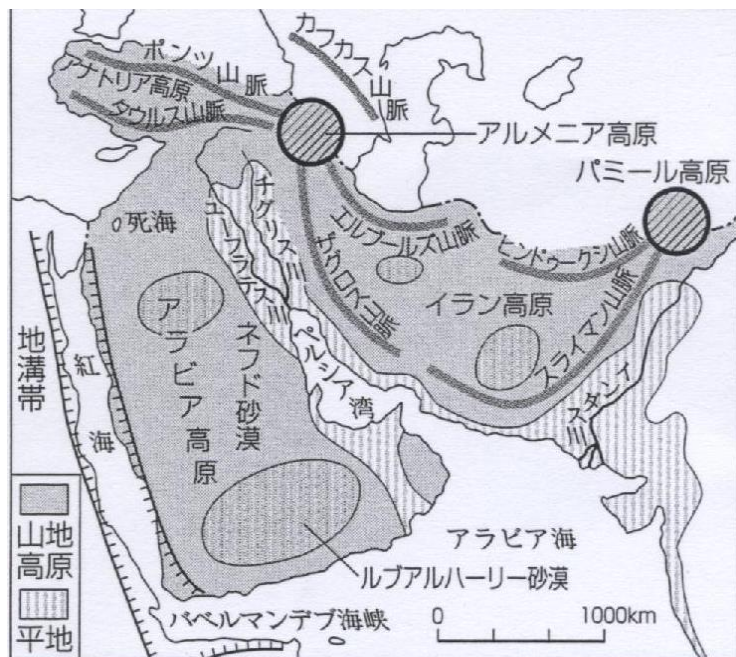
○西アジアとは？

・アフガニスタンからトルコまでの地域 15 개국  
 →アフガニスタン、イラン、イラク、トルコ、サウジアラビア、クウェート、バーレーン、カタール、オマーン、アラブ首長国連邦、シリア、レバノン、ヨルダン、イスラエル、キプロス

○【① \_\_\_\_\_】とは？

・19 世紀帝国主義時代、西欧列強を基準にしてアジアを近東・中東・極東に分けて呼称する。

○【地形】



○新期造山帯

- ・【② \_\_\_\_\_】にかけての地域
- ・アルプス=ヒマラヤ造山帯に属す

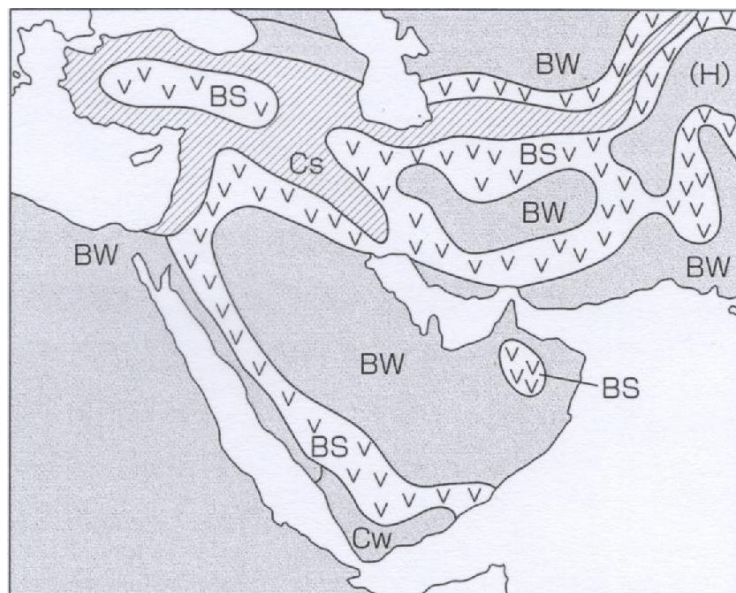
○安定陸塊

- ・アラビア半島(かつての Gondwana 大陸)
- 【③ \_\_\_\_\_】

○【④ \_\_\_\_\_】

- ・ティグリス川とユーフラテス川
- (※湿潤地域を水源とし、乾燥地域を貫流して海洋に注ぎ込む。)

乾燥した気候 (教科書 p.180～)



○BS(ステップ気候)と BW(砂漠気候)

- ・大部分が年間を通して【⑤ \_\_\_\_\_】  
 (亜熱帯高圧帯)の影響を受けるため

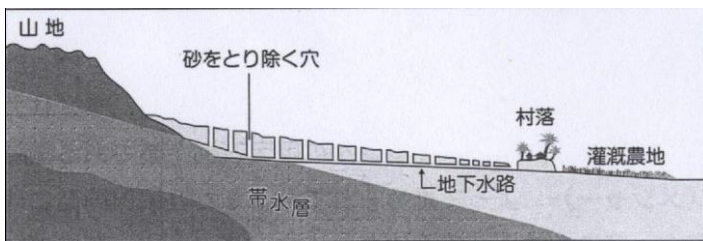
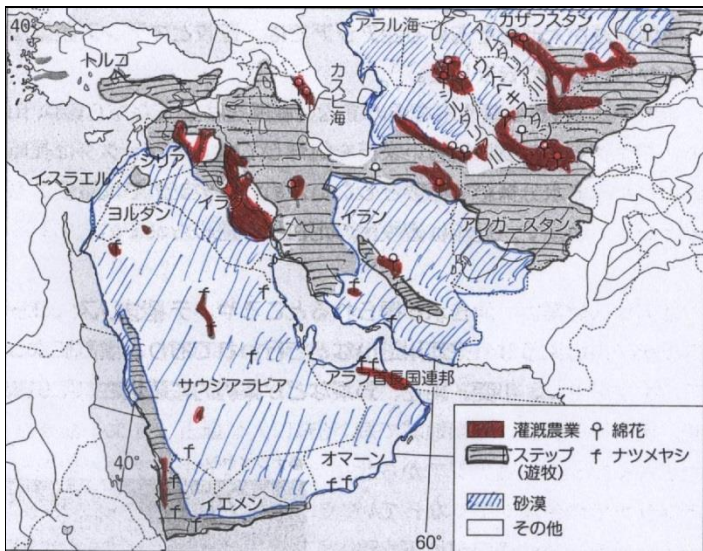
○【⑥ \_\_\_\_\_】(地中海性気候)

- ・トルコなどの地中海沿岸

※地中海性気候の発生要因

乾燥帯の高緯度側にある緯度 30 度～40 度。  
 夏に【⑦ \_\_\_\_\_】の影響を受け乾燥するが、冬は【⑧ \_\_\_\_\_】の影響を受けて湿潤となる。

【 西アジアの農業 】



○西アジアの農業は遊牧とオアシス農業

(1)[⑨]

- ・自然の草や水を求めて広い範囲を移動。
- ・羊、ヤギ、ラクダなどの感想に強い家畜
- ・[⑩]…長時間にわたって水分補給を必要としないので重要な家畜。
- ・近年は遊牧民の定住化も

(2)[⑪]

- ・湧水が得られるところやティグリス・ユーフラテス川のような外来河川沿い。
- ・灌漑によってナツメヤシ、小麦、綿花、野菜などが集約的に栽培される。

(3)灌漑用地下水路[⑫]

- ・山麓の地下水を人工的に掘った地下水路に通して、集落や耕地まで導水する。(地下水路にするのは水の蒸発を防ぐため)

この地下水路は地域によって名称が異なる。イランではカナート、北アフリカでは[⑬]、アフガニスタンでは[⑭]と呼ばれる。

人々の生活の様子

○砂漠に人が住むのは難しい→水を得られる場所に都市が形成される



☆[⑮] : 商業・金融・貿易・交通等の機能が中心な都市。

- ・[⑯]…シリア南西部にある同国の首都。オアシスに立地し、古くから交易の中心地として発達。大規模なスーク(市場)がある。

☆[⑰] : 政治・軍事・文化・宗教・観光などが都市の基盤をつくり、消費を主な機能とする都市。

- ・[⑱]…イスラエル中部に位置する同国の首都。ユダヤ教・キリスト教・イスラーム教の3つの聖地。

○都市内部の様子



- ・[⑲] (スーク)…イスラーム圏の市場。迷路のように入り組んだ狭い屋根付きの両側に業種ごとにまとまった商店や職人の工房が軒を連ねる。

- ・[⑳]…イスラーム教の礼拝堂。丸い屋根と針のようにとがったミナレットに特色がある。モスクとは神の前にかしづくところという意味。